

MITSUBISHI
三菱ハイブ用ファン(給気用)
トイレ・洗面所用/浴室用
取付工事説明書

工事店さま用

形名によって取付工事が異なりますので、
予めご使用の形名をご確認ください。

形名表示位置



この製品の運転にはスイッチが必要です。
スイッチの位置を確認してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 電気工事は電気工事店に依頼してください。
- 接続パイプは市販の塩化ビニル管、銅板管のいずれかをご用意ください。
- 直接屋外に給気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(ウェザーカバー)など取付けてください。また虫侵入防止のため防虫網付のフードをおすすめします。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

洗面用/浴室用	形名	グリル形状	電源仕様
洗面用	V-08PSQK4	角形タテ格子グリル	電源プラグ
浴室用	V-08PPQK4		コード直付
	V-12PPQK4		

警告

注意

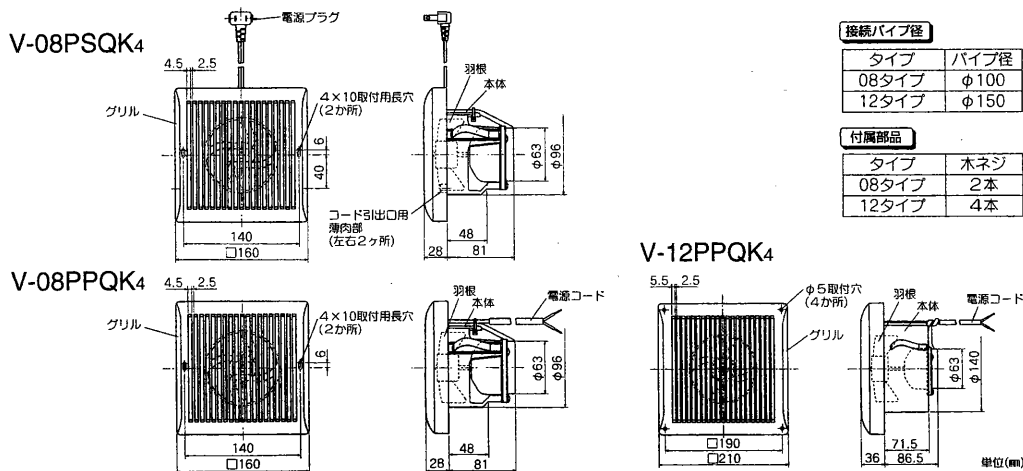
- 交流100Vを使用する
電流や交流200Vを使用すると感電の原因
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電気的に接触しないよう取付ける
漏電・発火の原因
- 内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因
- 分解・改造はしない
火災・感電・けがの原因

- 直接炎のある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない
火災の原因
- 浴室内に壁スイッチを設けない
感電の原因 (V-08PPQK4、V-12PPQK4)
- 浴室など湿気が多い場所には取付けない
感電および故障の原因 (V-08PSQK4のみ)
- 本体取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
落下によるけがの原因
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因
- 電気工事は必ず電気工事店に依頼する
感電の原因
- 取付けの際は手袋を着用する
けがの原因
- 部品の取付けは確実にを行う
落下によりけがの原因

お願い

- 高温(40℃以上)になるところに取付けないでください。
故障の原因
- アルミレキシルダクトへの取付けはしないでください。
振動の原因
- システム部材(ウェザーカバーなど)は壁厚にあったものを選んでください。
壁厚により取付けられない場合があります。
- 燃焼排ガスなどを吸い込む恐れのあるところには取付けないでください。
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 浴室・トイレで使用される場合は排気用換気扇と連動されることをおすすめします。
- 浴室で使用する場合、グリルから水滴が落ちても不快にならない位置に取付けてください。
- 虫侵入防止のため防虫網付のフードを取付けることをおすすめします。
防虫網の点検ができる場所に取付けてください。
- 風雨の影響を受ける場所では、耐外風高性能フードを取付けることをおすすめします。

各部のなまえと外形寸法図



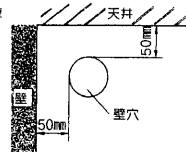
取付方法

1.取付前の準備

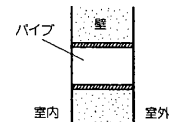
壁取付けの場合

壁穴へのパイプの固定

- 取付け場所を決めて壁穴を開ける。
●パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)管と厚肉(VP)管および銅板管があります。
壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。



- 壁穴にパイプを確実に固定する。
パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
●固定が不十分ですと振動したり異音が発生する原因になります。
●パイプは室内壁面より出ないように差し込みます。

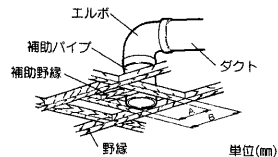


天井取付けの場合

野縁工事とダクト配管

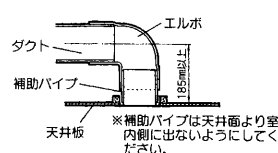
- 右図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。

タイプ	A	B
08タイプ	□120	□180
12タイプ	□170	□230



- ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。

- エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。



2.電気工事

電源の接続・配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。

- システム部材のスイッチを取付ける場合はシステム部材に同梱の取付説明書に従ってください。
- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
- 防火ダンパー付フードを使用される場合、ダンパーが閉じるとき電源線はさまないように配線してください。
- 屋外に電源コンセントを設ける場合は雨の当たらないところに設けてください。

★この製品は電気用品取締法の二重絶縁構造に適合しており、アース工事が不要です。

警告

交流100Vを使用する
直流や交流200Vを使用すると感電の原因

注意

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にを行う
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因
電気工事は必ず電気工事店に依頼する
感電の原因

電源プラグタイプの場合

- 内線規程に基づくコンセントを屋内の換気扇近傍に設ける。

3.本体の取付け (壁取付け・天井取付けともに同様の取付け方です)

- グリルを本体からはずす。
- 電源コードタイプは結線をする。
●2芯ビニルキャブタイプケーブルを単相100V電源に接続し、絶縁処理をします。
- 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジで本体を固定する。
- グリルを本体に取付ける。
●グリルの方向を間違えないようにしてください。
●電源プラグを左右から出す場合はグリルの薄肉部を切り欠きます。
- 電源プラグタイプは電源プラグを専用のコンセント(単相100V)に差し込む。
- 以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

図はV-08PSQK4を示す。

